

MIC

情報通信 vol.21

(2008年7月発行)

CONTENTS

- 1 こんにちは 認証 部です
- 2 特集
- 3 建設業での ISO9001を考える」
建設業と ISO9001
事例紹介
(浜松市役所 建築住宅部公共建築課)
- 4 M IC ニュース
社会福祉法人指導監査要綱一部改正で
QMS認証組織優遇
環境関連法規の動向
M IC モータースポーツ分野に進出
Q & A
- 5 審査の現場から
お客様紹介
(山崎建設株式会社)
連載よみもの
審査員の心理」
- 6 連載よみもの
M IC ルーエッセイ
座右の銘 : 一期一会 (人十酒十肴)
= ノミ・コミュニケーション」
(審査員 八田 修次)
環境よみもの
環境と ISO14001」
- 7 お客様からのお便り
「すべての人に愛情を持って接する」
(株式会社ベアハグ)
「市民一人ひとりが環境にやさしくなれる
ことを願って」
(財団法人旭川市公園緑地協会)
- 8 研修コースのご案内
ちょっといっぶく
コースのご紹介 / 受講生からのお便り

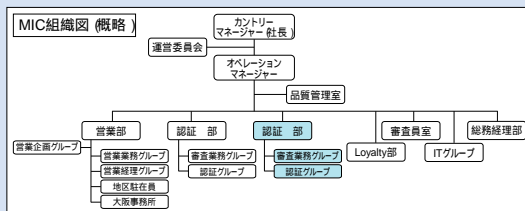
こんにちは 認証II部です

認証II部 小河 桃子

私たち認証 部では、ISO 14001及びOHSAS18001の審査に関連する業務 - 審査日程の管理、審査報告書のレビュー、認証登録証明書の発行等々 - を担当しております。現組織となって早 5年目を迎え、おかげさまで ISO 14001のお客様も契約ベースで 1,000社を超えました。皆様方に M ICをますますご愛顧いただけるよう一人一人が責任を持って業務に励まなければと、スタッフ一同気を引き締めている今日この頃です。



上 認証 部スタッフ (右から小河桃子、スキームマネージャー五味憲一、佐々木恵、牧田多恵)
下 : M IC組織図 (概略)



話は変わりますが、先日私は週末を利用して、某温泉地の人気宿に一泊してきました。今回が二度目の訪問です。以前には無かったエステサービスが設けられていることを予めホームページでチェックしていた私は、迷わず足のマッサージ45分コースを申し込んでいました。もちろん、別料金です。しかし、その実態は、エステルームとは名ばかりで、乱雑な納戸のような小部屋に通された(洗濯物を室内干ししている!)、45分コースとは名ばかりで、終わって部屋に戻り時計を見ると30分もたっていない(あとに予約がつまっていたらしい)、あまり上手じゃないなあと思っていたら、エステティシャンとは名ばかりで、実は近所の別の旅館の仲居さんが副業としてやっていた(世間話の中で判明) というように散々なものでした。このエステサービスを除けば、この宿がウリにしている湯量豊富な温泉や、浴衣のままいただけるフレンチの夕食は前回の訪問時同様素晴らしいだけに、なぜこのように中途半端なサービスを新たに設ける必要があったのか、とても残念に思うと同時に、サービス業の難しさを再認識させられました。

言うまでもなく、M ICも「認証登録」という形のない商品を扱っているサービス業です。認証機関として皆様方に提供できる最良のサービスとは何かを考え、実現していかなければなりません。「ないとダメ・ありすぎてダメ」を肝に銘じ、私も微力ながらM ICの一員としてがんばっていきこうと思っています。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

建設業でのISO9001を考える

- 効果的活用でレベルアップを -

当初は製造業中心であった ISO9000シリーズは、公共工事の入札要件に ISO9000シリーズの認証取得が加えられたことをきっかけに、急速に建設業での認証取得が増加し、今では国内の ISO9001認証総数の約 3割を占めています。更に現在ではサービス業など様々な業種に広がりを見せていますが、今回は建設業に焦点をあて、実際に審査を行う審査員の視点から見た建設業における ISO9001についての考察と、取得事例として本年 2月に ISO9001の認証登録をされた浜松市役所（建築住宅部公共建築課）様をご紹介します。



特集

1

建設業と ISO9001

MIC契約審査員 河合 哲郎

はじめに

建設業の ISOは、曲がり角に来ている？ いえいえ、そんなことはありません。施工の質は今後問われ続け、総合評価落札方式での技術提案や施工計画は、ますます重要性を増しています。「ISO 9001の要求事項 (4.1~ 8.5)を適切に理解し、それを現場管理に活かす要素はまだまだあるんじゃないですか」と申し上げたい。次世代を支える建設業者として生き残るための手段の一つとして、建設業の皆さんと一緒に ISO 9001の運用を今後も考えていきたい。ISOマネジメントシステムを取得した多くの建設業の皆さんが、MICのような審査機関を支えてきたことも一つの事実であることに感謝しながら、建設業の審査のありかたをこれからも考え続けていきたいと思えます。

実際の施工管理に合わせた解釈と適用

そもそも製造業を念頭において作られた ISO 9000シリーズは、必ずしも建設業向けの言葉では書かれていないことを肝に銘じること。これが私の審査ポリシーでもあります。製品とは何か、顧客は誰か、顧客重視とは、文書（情報）とは、など、基本的な用語の定義」を審査の根底においています。

また、要求事項のクリアは最低限で考え、メリハリある運用をすること。つまり「いいとこ取り」かな。そして、7章については、施工プロセスの妥当性確認 (7.5.2= 施工を保証すること、現場では日々の段

取りと工程内のチェック、段階確認でしょうか)を中心にした実際の施工管理にあわせた ISOシステムの解釈と適用を心がけています。



ISOを大きな味方に

施工管理の出発点は、施工計画書の提出 (7.2.3の製品情報です)ですから、審査ではこの計画 (7.1)が如何に他業者と差別化されているかも見ます。そして設計図書類と施工計画書、共通仕様書等の情報文書類が如何に管理されているか (現場での 4.2.3)も見させてもらいます。また、施工という仕事を請け負っている (民法 632条、そこには物の概念がまったく出てこない)のです、つまり提供する製品は「物」ではない)わけですから、建設業 (施工業)はサービス業であることを前面に出します。ですから「ものづくり」主体の製造業と求められる仕事の性質が違ってきますし、かつ、広くもなるわけです (官庁の工事評価項目の広範さを思い出してください)。そこでは、当然「安全」も「環境」も施工の質の一つの要素に過ぎない。品質 ISOが製造業以外の業種に適用されるとき (これが意識化されたのが今の 2000年版ですが)、これらを正しく理解し、利用するならば、ISOは組織にとって本当にすごい味方になると考えています。

「建設業の施工現場には8.2.4の製品検査はない」、とか、「ISOの審査が一步間違えると審査員の独りよがりになり、「詐欺」まがいになってしまう」とは私の口癖ですが、大方の審査員の響きを買ってしまいます。私はそんなことを考えながら、毎日の審査の質(これも請負でありサービス業の質ですね、私にとって審査プロセスの妥当性確認、7.3.6と7.5.2がいつ

も「なやましい課題」です)を高めていく努力を継続していくことを、自身の品質目標としています。この目標を如何に判定可能なものにしていくかが(quality objectives shall be measurable = 5.4.1)悩みの種です。でも、つくづく審査って、難しいな。もっと勉強をしましょう

事例紹介

特集

2

ISO9001認証取得への取組みについて

浜松市役所 建築住宅部公共建築課
主任 岡本 祐一郎

当課は、「市民が安全で安心して利用できる施設づくりを「品質方針」に掲げ、公共工事の適正な品質確保を図るために、平成20年2月にISO9001を取得しました。

当課が取得を目指した背景として、平成17年4月に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が挙げられます。公共工事を取り巻く近年の情勢である、逼迫する財政状況、公共工事の品質低下、団塊の世代の大量退職に伴う建築業界の技術力低下などを鑑み、公共工事発注におけるより一層の透明性や公平性の確保、並びに公共工事の品質確保の促進が必要とされてきました。また、当課では、以前より事業プロセスをシステム化した「公共建築物整備プロセスマネジメントサイクル」が運用されておりますが、このシステムをさらに強化するため、ISO9001の内部監査や外部審査のプロセスを導入することと致しました。

平成19年5月より取得に向けて「品質マネジメントシステム」を整備し、10月より運用を開始しました。課内職員にもISO9001のシステムが徐々に浸透し、課全体で日常的に運用されることで、意識改革の契機となることを期待しております。今後も、このシステムにより効果的な運用を図るとともに、課内職員全員が、公共建築物の品質確保が市民サービスそのものであるという観点で事業プロセスを執行していきたいと考えております。



景気低迷の長期化に伴う建設投資額の縮小、市場競争の激化など建設業を取り巻く状況は厳しさを増しています。生き残りをかけた競争が激しくなる中、「余分な仕事が増えた」文書でがんじがらめになっている」などメリットを感じるどころか、取得によって逆に企業の体力が疲弊し、形骸化している企業も少なくないのが事実でしょう。しかし、ISOは経営ツールであり本文にあるように正しく理解し利用すれば改革・改善システムとしての活用が可能です。取得によって、業務改善、品質管理体制の見直し強化が行われ、社内の意識向上・体質改善につながったとの声も多くあります。上述の浜松市役所(建築住宅部公共建築課)様の場合も、ISOを通じた業務システムの強化、意識改革を目的に導入されておられ、今後の効果的運用による活用が期待されます。

また、公共工事対象建設業者の場合、品質目標に「工事成績評価点 点以上」との内容が掲げられていることがよくあります。概ね、65点から75点の間が多いのではないかと思います。80~85点を超えますと優良工事に分類されます。以前弊誌(2006年7月発行MIC情報通信13号-弊社HPでバックナンバーをご覧ください)で紹介させて頂きましたお客様、境港土建株式会社様も品質目標に工事評価点を取り上げられ、「主要地方道米子境港線道路整備工事」で工事評価点95点という前代未聞の高得点を達成されています。達成後も品質目標の維持向上に努められ年々改善が進んでいるとのことでした。厳しい状況であるからこそ、組織強化にISO9001を活用して頂ければと思っております。



社会福祉法人指導監査要綱一部改正で QMS 認証組織優遇

社会福祉法人の指導監査については、2007年の指導監査要綱の改正により、外部監査の実施や福祉サービス第三者評価の受審など施設経営における積極的な取組みを実施している法人については、所轄庁の判断により、実地監査を4年に1回とすることができるようになっていましたが、本年3月、指導監査の重点化・効率化を図る観点から、法人が「ISO9001」の認証を取得している場合は、所轄庁の判断により、実地監査を4年に1回にできる要件の一つとして新たに加えられることになりました。

これは、法人の指導監査を4年に1回とする要件の一つである「福祉サービス第三者評価」と「ISO9001」を比較した場合に、異なる部分はあるものの、ともにサービスの質の向上を主な目的とし、そのサービスを生み出す体制と取組みを評価するものであることから、法人の指導監査を4年に1回にできる要件である「法人の積極的な取組み」の一つとして取り扱われることになったためです。この改正については、本年4月1日より適用となっています。詳細につきましては、各管轄の自治体へお問合せください。

環境関連法規の動向

今年から、京都議定書で定められた第一約束期間がスタートし、1990年比6%の削減が求められている日本では、実質約13%の削減(2006年度速報値より)が必要な状況となり、地球温暖化問題はさらに重要な課題となっています。今年は洞爺湖サミットが控えていたこと加わり、温暖化対策強化のための制度改正が続いています。省エネが進まない業務部門への規制強化のため、規制対象を事業所単位から事業者(企業)単位とした改正省エネ法と改正温暖化対策法が来々4月から施行される予定ですが、省エネ法ではすでに、2006年に物流分野にも対象が広がっています。

廃棄物処理法の一部改正により、一般廃棄物として扱われていた木製パレットが今年度から産業廃棄物となり、また産業廃棄物管理表(マニフェスト)交付状況の報告義務が2008年4月1日から適用されました。リサイクルでは、家電リサイクル法が見直され、対象品目に液晶・プラズマなどの薄型テレビなどが追加され、本年度中には導入される見込みです。世界的にも地球温暖化を巡る動きが活発化してきており、今後の動向が注目されます。

ムーディーマレーシア モータースポーツ分野に進出

今年25周年を迎えたムーディーマレーシア(MCM)では、F1マレーシアの医療チームのISO9001認証登録を行い、新たな分野に進出しました。F1マレーシアグランプリは、マレーシア国内でも非常に人気を博しているモータースポーツで、チームは2年程前から認証登録に取組み、今年の認証となりました。審査は、多くの国へ中継されたセパン・インターナショナル・サーキットでのレース開催日にも一部実施されたとのことでした。今回の認証は、ムーディーグループとして初めての分野での認証登録ですが、F1医療チームとしても世界で初めてのISO9001認証登録となります。さらに、MCMでは、マレーシア警察庁のISO9001認証登録も今年

年行いました。日本では自治体のISO取得は増えているものの警察関連施設単独でのISO取得はあまりありません。今年3月に201周年を迎えたマレーシア警察庁は、国民からの声に応えるべく国内の治安維持と犯罪防止に向けて改革への決意を表明しています。サービスの質を向上し、国民の信頼を深めていくためにQMSを活用しその達成を目指されるとのことです。



F1マレーシア医療チーム認証式にて

Q&A

Q

知り合いの会社は他の審査機関でISO9001の認証登録をしており、「ISOの審査はどこの審査機関で受審しても同じようなものだろうか?」と言います。審査機関による特徴や違いは本当はないのでしょうか?

Answer

審査の基準となる規格は同じですし、また、審査機関は認定機関(UKAS、JABなど)より認定を受けた審査機関であれば、IAF(国際認定機関フォーラム)が推進している国際相互認証協定により、認定を受けた審査機関は同一とみなされていますので、その点でも基本的に同じと言えるでしょう(弊社HPもご参照下さい: http://www.moodygroup.co.jp/mic_oshirase.htm)。但し、認定の範囲は産業分類ごとに行われますので、審査機関によって業種の強い・弱いなどの専門性があつたり、また各審査機関によって審査方針の違いはあると思います。

弊社の場合、認証を通して組織の未来に変革と付加価値をもたらすことを理念とし、さらに「効果のある審査で、継続的改善を促す触媒として役立つ」ことを使命としております。具体的には、業務の流れを重視したプロセス志向の審査(規格要求事項の要素を点から線、線から面に分析することで改善のニーズを把握)の実践に取組み、審査員会議でもシミュレーションを通して勉強する一方、審査の統一性、質の向上に向けての取組みにも努めております。

山崎建設株式会社 様

MC審査員 美濃 英雄 Hideo Mino



山崎建設株式会社様は、約700台の大型建設機械を保有し、その機械を使った土木工事の専門工業者（通称：サブコン）として発展、今年で創業60年目を迎えられます。これまでに関西国際空港や第二名神高速道路、発電所施設造成など、大きな土木工事を幅広く手がけられておられます。現場完成時、客先に記入して頂くアンケートなどを見ると大手ゼネコンから多大な信頼を得られていることが分かります。

機械土工事の他にもトンネル工事、構造物工事、そして建築工事と関連施工分野の多様化・多角化に対応した総合的に施工対応できる専門工業者としての体制を整えられ、近年は政府開発援助・ODAに関するプロジェクトなど、海外での施工案件が増加中で国内外問わず建設業を通じて社会全体に奉仕・貢献をされています。

今回の現場審査で視察した第二京阪道路国守工事は京滋バイパス（巨椋池IC）から近畿自動車道（門真IC）を結ぶ自動車専用道路と国道1号バイパスの併設道路です。計画延長7kmの内205mの開削トンネルを構築する工事で、主に土工事を担当されていました。（右上写真参照）

同社の品質方針は「必要利益の確保、重大災害の撲滅、雇用の安定」をモットーに社長様が制定され、その品質方針に基づき、支店・現場においても目標展開が確実に行わ



【JASDAQ上場】
本 社 東京都中央区
日本橋
従業員：968名
売上高：450億4,170万円
(07年3月期実績)

れておられます。「人材企業宣言」を発行して経営者の思い・指示を確実に社内に伝え、会社全体で「継続的改善活動」を実践されている同社での品質向上、意識向上への強い意志が感じられました。

未来へ、世界へ向けてより大きく発展・躍進されている同社は、60年という節目を迎えられ、新たな前進を続けていけることと思います。

同社ホームページの「土工教室」は一見の価値があります。

<http://www.yamazaki.co.jp/>

審査員の

心理

第7回

「資源の運用管理と製品実現」(2)

MC Loyalty部 部長 成毛 秀雄 Hideo Naruke

製品実現こそは、顧客要求事項を製品、サービスに変換するプロセスといえます。審査員の専門性に関する部分で、審査における専門性とは、ある特有の産業の製品実現プロセス、その中でも特に技術性の高い設計・製造・サービス提供に関するプロセスの重要管理項目、リスク、また、製品要求事項についてもそのリスク、重要管理項目をよく理解し、認識することができる力量です。これは、単に知っているということとは異なります。知っているということとは重要なことですが、よく認識し、気付くということがなければ単に知っている（知識として頭の中にある）だけで終わってしまいます。知っている」とは、どのようなことなのか、案外むずかしい議論になります。例えば、こういう場合はどのように審査する、そういう場合はそのように審査する、といったようにあたかも公式のように記憶する。このような考え方は推奨できるものではありません。これが習慣づくとも規格要求事項をいかに適用するかということのみが重点になってきてしまいます。審査は「適合性」を評価するのだからそれでいいのではないかという意見もあると思います。「適合性」といいましたが、これは、要求事項のひとつひとつをある点としてみ

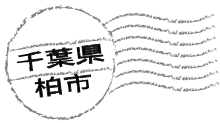
るのではなく、規格要求事項の様々な要素が複合的に融合し、点が線になり、線が面になるようにシステムを審査していきませんとシステムの運用というものが良く見えません。

審査員がよい指摘を行うには、すでに述べたように規格要求事項の様々な要素が複合的に絡みあっていることを十分に理解しなければなりません。製品実現の審査において、ただ目に見えた事実、言葉を変えれば審査員が視覚で感知したことをただそのまま表現し、指摘する。製造設備管理チェックリストに記載がなかった「測定器に校正の識別がなかった」「工程内検査記録にリリース承認者が間違っていた」これらは代表的な例で、システム審査というより先感覚的には、何かの目視検査のようです。審査員にしてみれば、「あっ、見付けた」ということでしょうか。もし、審査員がある産業についてそのプロセス、製品の知識のほか、重要管理点やリスクに対し鋭敏な目を持ち、正しく認識する能力があれば、例にあげた指摘についてもっと別の側面から観察するでしょう。



MCリーエッセイ

審査員からのエッセイをお楽しみください。



From 千葉県柏市
八田 修次
(はった しゅうじ)



PROFILE

専門分野 ISO 9001 - 建設、造園、不動産、設計 開発
経歴 三井不動産建設(株) 建設 設計開発、三井不動産(株) 不動産、イビディングリーントック 造園、コンサルティング(現職)

「座右の銘：一期一会（人十酒十肴）＝ノミ・コミュニケーション」

趣味・・・？ 学生時にヨットに凝り船舶免許を取得していた為、夏場は、時々伊東と初島間を10人乗りボートでCO2を発生させています。海上も3月にイージス艦・漁船、貨物船接触・沈没等大事故が相次いで発生。ルール違反が原因ですがその根本は、**リスクの想定・対策**が取られていなかった為で、『**起きてからでは遅すぎる、未然に防ぐ予防**

処置』の重要性を警鐘しています。経営システムは千差万別が基本、人間同様 瓜二つのシステムがあるとすれば、一方の組織は不具合が生じているはず。常に**自信を持って費用対効果を考慮した「個性・固有のシステム」**で**不況・不具合の荒波を乗り切って頂きたい**。組織全員の**パワーを結束**し目的を達成できないとすれば、どこか歪なシステム

として**改善が必要です**。『それぞれの豊かな個性・特性を持ち、**事業に信念を持っての活動状況**』の審査を通じ、新たな**出会・再会**を楽しみに、又、前泊の夜は、**酒と肴の一期一会**を求めて赤提灯を探索も**趣味**？ですが閉店間際の到着が多く、目標未達の是正処置として『**美酒と美味な肴+**？』の情報収集集中です。是非ご一報ください。

連載 環境とISO14001

第19回 「エネルギー問題 (3)」

MC環境審査員顧問 郷古 宣昭 Nobuaki Goko

今回は各種エネルギーの第3弾として燃料電池について紹介します。

燃料電池は化学反応を直接電気に変換する発電システムであり 火力発電のように燃焼による熱エネルギーを介在させないために発電効率が低いことが特徴です。反応は水素と空気中の酸素による水の生成だけなのでクリーンなエネルギーとみなされています。付表に代表的な4種の燃料電池の特徴を示しました。水素イオンのみを通す媒体(電解質)が何であるかにより作動温度範囲が異なり それにより発電効率が左右されます。表中の総合効率はセルの冷却排水を温水として利用(いわゆる 熱電供給)した場合の全効率です。

固体高分子型(PEFC)は自動車用に開発が進んでおり 有害ガスや騒音を発生しないことも評価されています。磷酸型(PAFC)は最も古くから宇宙船等で実用化されていますが、次世代技術としては中途半端です。溶解炭酸塩型(MCFC)は大規模発電設備用に既に実用化されています。固体酸化物型(SOFC)は各家庭に温水と電力を同時に供給する熱電供給システムとして、また、大規模発電所や送電線を必要としない次世代型分散型エネルギー供給システムとして開発が進んでいます。

燃料電池実用化上の最大の問題は、原料水素が単独で存在しないことです。水素を得

る方法として化石燃料を触媒で改質(炭化水素と必要に加えた水を分解し水素と二酸化炭素を生成する)する方法が古くから実用化されていますがこの方法では二酸化炭素の生成は避けられません。

水を電気分解することによっても水素が得られますが、これには膨大なエネルギーを必要とします。原子力を用いて熱化学的に水素を取り出す案も提案されていますが、これも通常の原子力発電と比べて遥かに不効率です。家庭用燃料電池を開発しているガス会社は、既設のパイプラインで送り込んだ都市ガスから水素を取り出す「改質器」を燃料電池に組み込むことで対応しています。自動車用の場合は水素源としてガソリンスタンドに代わる水素ステーションを必要としますが、水素製造基地、配管、ポンプ(自動車用は75MPaの高圧が要る)などのインフラ整備が必要で実現は容易ではありません。

燃料電池による家庭用熱電供給システムは現在の大規模発電システムに取って代わるものではなく、化石燃料の有効な活用法の一つとして位置づけられるでしょう。また、自動車用燃料電池は水素インフラを必要とする事から限定された範囲内での利用に留まるでしょう

付表

燃料電池の種類と特徴

	固体高分子型(PEFC)	磷酸型(PAFC)	溶解炭酸塩型(MCFC)	固体酸化物型(SOFC)
作動温度	60~ 80	160~ 200	600~ 700	800~ 1000
電解質	イオン交換膜	高濃度磷酸	炭酸リチウム	酸化ジルコニウム
発電効率%	35~ 45	35~ 45	45~ 60	50~ 60
総合効率%	70~ 80	70~ 80	70~ 80	70~ 80
排熱利用	温水	温水、蒸気	ガスタービン 蒸気タービン	ガスタービン 蒸気タービン
適用分野	自動車	汎用、熱電供給	中規模発電所	熱電供給

以上、いくつかのエネルギーを亙にわたって概括しましたが、結局のところ化石燃料に代わる次世代エネルギーはまだ見えてきません。少なくとも今後数百年間は化石燃料を温存しつつエネルギー源を多様化してゆかねばなりません。具体的には下記の点が望まれます。

化石燃料の使用法として、発電所・製鉄所など大規模設備には埋蔵量の多い石炭を使用し、発生する二酸化炭素は吸収分離し、地中貯留する。小規模設備には二酸化炭素排出量の少ないLPGや天然ガスを用いる。

原子力発電を積極的に利用する。ただし原料のウランも枯渇資源であることを認識する。太陽光発電、風力発電、潮力発電やバイオ燃料の使用比率を戦略的に拡大する。バイオ燃料については食料生産と競合しない国際ルール作りが必要である。

今回は資源問題についてお話しします。



お客さまからのお便り



すべての人に愛情を持って接する

株式会社ベアハグ (ISO 9001:2000 認証登録)
坂本 麻里亜

株式会社ベアハグは、東京都内・愛知県名古屋市を中心に、整体・フットセラピー・エステティックのサロン、接骨院、東京スポーツトレーナー学院の経営をしている会社です。

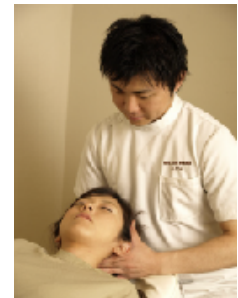
1996年の創業以来、大切にしてきた想いは「愛情」でした。お客様一人ひとりに、今自分が出来る精一杯のことをしてご満足いただけるようにしようと店舗運営や人材育成をしてきました。そこから、「すべての人に愛情を持って接する」という理念が生まれました。今は、それがベアハグの品質となっています。

弊社で ISO 9001 取得を考えたのは、10年後のビジョン、売上 100 億円、経常利益 10 億円の達成を掲げ、この理念を通して、一人でも多くのお客様に笑顔で元気なライフスタイルの提案ができるよう、スタッフ一人ひとりが今より高い技術力とサービスの向上に努める人材育成と店舗管理の必要性を考えたからです。

ISO 9001 認証取得したことによって、理念を中心とした経営管理や品質管理が明確になり、改善も早く効率が良くなってきました。

これからも、お客様が満足され、スタッフ全員が笑顔で働くことのできる会社を創っていきます。

私たちは
手の温もりをとおして
愛情と健康を与えます



市民一人ひとりが 環境にやさしくなれることを願って

財団法人旭川市公園緑地協会 (ISO 14001:2004 認証登録)
理事長 山脇 兼治

当協会は、旭川市が設置する公園緑地及び付帯施設を維持管理する事を目的に、昭和 59 年 4 月に設立された公益法人です。公園緑地は都市化が進む街中において、唯一潤いのある緑が保全されているスペースであります。当協会はこの市民の貴重な財産を管理運営するという役割を一步踏み出し、地球温暖化など今まさに問題となっている環境保全に、いささかでも貢献できればという考えから、ISO 14001 の認証取得に取り組んだところであります。

もとより当協会の事業活動の業態としては、建設・運輸・製造業等とは違い、環境に著しい負荷や影響を及ぼすものではありませんが、業務遂行の中で電気・燃料・水・消耗品等の消費、あるいは廃棄物の排出等環境に影響を与える側面は有しております。

省資源・省エネについてはこれまでも、経費節減の観点から取り組んでおりましたが、ISO への取り組みを契機に環境保護への意義付けを強め、明確な目標を設定して職員が一丸となって取り組み、一定の成果も現れているものと自負しております。

また「旭川市ごみ減量等推進優良事業所」の認定を受ける中で、廃棄物の減量やリサイクルを進め、環境への負荷を軽減する意識の向上や体制の構築にも取り組んでおります。

更に地球温暖化対策国民運動として、環境省が推進する「チームマイナス6%」にも参加するなど、環境保護をキーワードとする活動に積極的に取り組む姿勢を打ち出しております。ISO 認証登録組織としてこうした地道な努力を続ける一方、公園緑地の維持管理を担う指定管理者の責務として、公園愛護や緑化の推進、環境保護意識の啓発など、プラスの環境側面に重点を置いた活動の牽引役を果たしたいと考えております。

審査終了後に審査員の方から「協会の CO2 削減や廃棄物減量・リサイクルの努力には限界があるでしょうが、協会の活動や呼びかけに賛同して、市の全世帯の CO2 削減等が実現すれば素晴らしい事ですね。」という言葉を頂きました。このことを肝に銘じて活動を続けていきたいと思っております。



カムイの杜公園



リバーライン旭川



本格的な夏が近付き、食中毒が心配な季節になってきました。今号では気になる菌について取り上げてみました。食中毒は、細菌性（サルモネラ菌など） ウイルス性（ノロウイルスなど） 化学性（農薬・有害金属など） 自然毒（フグなど）の4つに大別されます。夏に多く発生するのは細菌性食中毒で、食品の中に中毒を起こす細菌がいたり、原因菌が増えた場合に発生します。食中毒予防の基本は、細菌をつけない（手や調理器具等丁寧に洗う） 増やさない（早めに食べる、冷蔵庫に保存する） 殺菌する（しっかり加熱する）の3つが重要です。以前PCのキーボードの菌テストで、トイレの便座の5倍もの菌が発見されたとの海外ニュースがありました。手洗いを含めて清潔に保つことがいかに重要かがわかります。そして菌を増やさない為に利用する冷蔵庫も、使い方によっては多くの細菌が発生・増殖するそうです。ある研究所が行ったテストでは、野菜室で袋などに入れずに保管して野菜くずが残っていたりした場合に、数十万～数百万の数値が検出というコワイ結果が出たとのこと。こまめな掃除を心がけたいものですが、ふきんで水ぶきした場合は逆に水分によって菌が繁殖しやすくなり、約30～700倍に増加するそうですので注意が必要です。水ぶきで汚れをふき取った後は消毒用エタノールで拭くのが効果的とのこと。

また、よく見かける抗菌グッズは、O-157 集団食中毒事件以降、市場が急成長し様々な商品を見かけます。しかし、誇大表示や安全性に問題のある製品などが氾濫するという状況にもつながり、90年代後半に規格化へ向けて始動しました。世界的な需要の高まりも重なり、抗菌試験方法がISO22196として昨年承認されました。日本発の標準規格です。'KOHKIN（=抗菌）'マークを世界のどこかで目にすることもあるかもしれません。また、花瓶に銅やコインを入れておくと、水が腐らず花が長持ちしたり、わさびや酢、緑茶など昔からの知恵で使われていた食材が最近の研究で抗菌効果が証明されてきています。抗菌グッズも賢く利用し、でも過信しすぎないで、「よく洗う」「しっかり加熱する」を心がけて暑い夏を乗り越えていきたいものですね。

研修コースのご案内

内部監査員研修コース

マネジメントシステムの維持・改善のために必須の内部監査。その知識とスキルを身に付けます。これから導入を予定されている企業や、既に導入され更に効果的な運用を目指される組織の皆様方にもお薦めです。

● 内部監査員コース 9001・14001・18001 (2日間)

【開催地】 東京・大阪

【対象者】 品質・環境・労働安全衛生マネジメントシステムの導入を予定・検討しているシステムをより効果的に運用したい効果的な内部監査を行いたい

審査員研修コース

審査員への最初のステップです。合格すると、審査員補になる資格が得られます。内部監査リーダーの方にもお薦めです。

● ISO9001 : RCA認定審査員研修コース (5日間)

● ISO14001 : RCA認定審査員研修コース (5日間)

【開催地】 東京

【対象者】 審査員の手で内部監査を行いたい内部監査グループのリーダーに任命された将来審査員を目指している

～ 受講生からのお便り ～

ISO14001内部監査員コースを受講して

環境内部監査員コース (2008年 5月) 受講
株式会社西川 経理 長廣 貴子

私の勤務する株式会社西川は、オフィス古紙・機密文書の回収を機軸とし、「リサイクルを通じて社会に貢献する」をモットーに、ISO 14001を平成 16年に取得いたしました。しかしその立ち上げ時を知らない私は、昨年より社内の環境事務局の一員となりつつも、今ひとつ内容をきちんと把握できていないままでした。

今回の内部監査員コースは、そんな私にとって実に贅沢な2日間だったと感じております。まとまった時間をとってみっちり学習できるチャンスは日常の業務の中では中々ありません。概要から始まり、グループワークでの演習も含め、一つ一つ段階を経て丁寧にご指導いただいたことで、今までよりもISOがぐっと親しみやすく感じられるようになりました。内部監査員という観点から入っていくことで、逆に今一度基本に立ち返った学習ができたように思います。社内の教育訓練に役立つようなノウハウもたくさん仕入れて、お得で贅沢な2日間でした。ありがとうございました。

ムーディー・インターナショナル・サーティフィケーション株式会社
<http://www.moodygroup.co.jp>

東京本社

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-2
日本橋Nビル 4F

TEL : (03) 3669-7408 FAX : (03) 3669-7410
E-mail : mi-certification@moodygroup.co.jp



大阪事務所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 41-14
住友生命新大阪北ビル 1F

TEL : (06) 6150-0571 FAX : (06) 6150-0575
E-mail : mic-osaka@moodygroup.co.jp